

G X ロケットの戦略重点科学技術としての位置付けについて

平成 18 年 12 月 26 日
内閣府政策統括官
(科学技術政策担当)

総合科学技術会議有識者議員は、第 3 期科学技術基本計画の分野別推進戦略において検討を行うこととしていた、G X ロケットの戦略重点科学技術としての位置付けに関する検討を、平成 18 年 12 月 26 日(火)の定例会合において行い、別添の通り決定しましたのでお知らせします。

第 3 期科学技術基本計画の分野別推進戦略(平成 18 年 3 月 28 日)については総合科学技術会議ホームページ(<http://www8.cao.go.jp/cstp/output/index.html>)からダウンロードできます。G X ロケットに関する当該記載については、フロンティア分野推進戦略(<http://www8.cao.go.jp/cstp/kihon3/bunyabetu10.pdf>)の 319 ページを御参照下さい。また、下記の間合せ先でも配布しております。

連絡先：内閣府政策統括官(科学技術政策担当)付
フロンティア担当 中村、福井
〒100-8970 東京都千代田区霞が関 3 - 1 - 1
中央合同庁舎 4 号館
T E L : 03-3581-9261
F A X : 03-3581-9969

G X ロケットに関する戦略重点科学技術の位置付けについて

平成 1 8 年 1 2 月 2 6 日
総合科学技術会議有識者議員

GX ロケットについては、分野別推進戦略（平成 1 8 年 3 月 2 8 日 総合科学技術会議）において、「中型ロケットとしての必要性にかんがみ、技術的課題に見通しが得られた時点で評価・検討を行い、戦略重点科学技術として位置付ける。」こととされている。今回、上記戦略のフォローアップの一環として検討を行い、下記のとおり取り扱うこととする。

- 1 . GX ロケットの技術的課題に関して宇宙開発委員会において評価が行われ、今後の開発に当たって技術的課題に見通しが得られた、との評価結果の説明を受けた。
- 2 . 宇宙開発委員会による評価結果を踏まえ、可能な限り速やかに G X ロケットの研究開発を加速させ民間に技術移転を行う必要があるため、これを戦略重点科学技術（信頼性の高い宇宙輸送システム）の施策の一つに位置付ける。

なお、宇宙開発委員会において平成 2 0 年度に開発方針の再検討を行うとしていることにかんがみ、必要に応じ総合科学技術会議としても今後フォローアップを行う。